



ミニ動物園

しものせき トピックス

Shimonoseki Topics



動物慰霊祭

ミニ動物園では、家族連れが犬やヤギなどの動物に触れ合いました。センターで処分された犬猫やペット火葬された動物の慰霊祭もありました。その他、犬の永年飼養者・児童絵画表彰や猫のおもしろ行動教室などもありました。

動物ふれあい フェスティバル

動物の愛護と適正飼養の普及啓発を目的に動物愛護週間中の9月23日、「下関動物ふれあいフェスティバル2013」が動物ふれ愛ランド下関でありました。

集会には、地域のさまざまなまちづくり団体の皆さんに参加していただき、本市の基本的な推進方向を解説したのち、参加者全員で自らが生活する地域の身近な課題やその解決方法などについて話し合いました。

まちづくり集会

地域の自主性と主体性を活かした住民自治によるまちづくりへの機運を高める目的で、9月15日～10月20日まで市内22カ所で「まちづくり集会」を開催しました。



9月21日(清末公民館)

前日の予選会を通過した20組が出場しました。司会者と出場者との楽しい掛け合いや、観覧者からの声援に加え、ゲスト出演した橋幸夫氏と長山洋子氏による歌の披露も行われ、会場は終始、熱気に包まれました。

歌声を全国へ

明るく！楽しく！元氣よく！をテーマに、元氣な歌声を全国に届ける「NHKのど自慢」が10月13日、6年ぶりに下関市で開催されました。のど自慢には、



美しい歌声を披露する出場者(市民会館)

会議では、「食と特産品を通じた環黄海の観光連携について」をテーマに意見が交わされ、成果を「下関宣言」として採択しました。

日中韓10都市 観光で連携

第8回東アジア経済交流推進機構観光部会下関会議が、10月9日、海峡メッセ下関であり、下関市を含む日中韓の10都市の観光関係者が参加しました。同機構は、



会議に参加した10都市の下関、北九州、福岡、中国・大連、青島、天津(テンシン)、煙台(エンタイ)、韓国・釜山、仁川(インチョン)、蔚山(ウルサン)の各市の代表者



景色を楽しみながら疾走(豊北町二見付近)

ツール・ド・しものせき2013

ルに、ロング約130^キ、ミドル約45^キ、サイクルラリーのコースを自転車で駆け巡りました。

歴史・自然・味覚と下関の魅力が楽しめる自転車のイベント「ツール・ド・しものせき」が10月6日にありました。下関北運動公園(大字富任)をスタート・ゴール



サイクルバザール(自転車初心者教室)



声援を受ける参加者(室津付近)

会場では、おもしろ自転車や初心者教室などのサイクルバザールがあり、家族連れなどにぎわいました。



リフレッシュパーク豊浦を出発する参加者

豊浦コスモスウォーク

のコスモスに色鮮やかに彩られた川棚の町並みや、クスの森といった観光名所を楽しみながら歩く、3つのコースが用意されていました。参加した皆さんは、秋の風を感じながら、川棚を存分に満喫していました。

10月6日、豊浦地区の秋の恒例行事、豊浦コスモスウォークが開催されました。晴天にも恵まれ、市内外から多くの皆さんが参加しました。

さまざまな種類



第5回下関くじら料理コンクール最優秀賞受賞
「くじらと野菜のオイスター炒め」

和^わ田^だ まゆみさん



下関に来て初めてくじらのおいしさを知りました。

「見栄えがよくなるように、盛り付け方を考えたり、器を選んだりし、楽しく料理をしました。福井県出身なので、くじらになじみがなかったのですが、今回参加したことでくじら料理に触れることができました。受賞したときは本当にうれしかったです」と和田さんは笑顔で語ってくれました。

皆さんもぜひ自宅で作って、レパートリーにくじら料理を加えてみてはいかがでしょうか。

▽表彰式は11月24日、下関大丸で開催される「ご当地くじらグルメフェア」で行われます。

第5回下関くじら料理コンクールで最優秀賞を受賞した和田まゆみさん。安岡病院で調理師として働いています。受賞した料理は和田さんが発案した「くじらと野菜のオイスター炒め」。くじら特有の匂いを無くすため、しょうがしょうゆに漬け込み、うま味を逃さないように片栗粉をまぶして包み込む。彩りを考えトマトやピーマン、なすを加えてオイスターソースで炒める。最後に熱したゴマ油をかけて完成です。

今回のアイデアは、弁当を食べ

ている時に、鶏肉をくじらに代えたらおいしいかもと思い、早速作って職場の同僚に食べて